

令和5年度シンポジウム

資源循環分野における脱炭素・循環経済に係るシンポジウム

2024年2月吉日
廃棄物資源循環学会
環境省

[趣旨] 2050年カーボンニュートラルに向け、廃棄物・資源循環分野でも待ったなしの対応が求められています。

昨年6月には、2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素化の推進、資源循環の強化など近年の廃棄物処理をとりまく情勢を踏まえ、廃棄物処理法に基づく基本方針が変更され、令和5年度から令和9年度までの廃棄物処理施設整備計画を閣議決定されました。さらに、本年夏頃の閣議決定を目指して、次期循環基本計画の策定作業を現在実施しております。新たな計画では、循環経済への移行を通じたカーボンニュートラル・ネイチャーポジティブの実現や経済安全保障・産業競争力強化・地方創生への貢献について盛り込むとともに、令和4年9月に策定した循環経済工程表を踏まえた今後の施策の方向性や数値目標を明記することを検討しています。

令和5年度シンポジウムでは、こうした状況を踏まえ、一般廃棄物に関して、脱炭素化に向けた資源循環分野における施策の概要、資源循環研究からプラスチック資源及び金属資源循環に関する最新の研究成果及びごみ焼却施設における脱炭素への取り組みについて、多角的視点から施策や研究の方向性などについて御報告いただき、資源循環分野における地域の脱炭素と循環経済の同時達成に向けた課題や方策について、多角的視点から討議を行うものとします。

[主催] 環境省、廃棄物資源循環学会

[日時] 2024年3月6日(水) 13:30~17:00 (会場受付は13:00より開始)

[会場] 航空会館(7階大ホール)(東京都港区新橋1-18-1) 03-3501-1272

[交通] 地下鉄都営三田線内幸町駅A2出口より徒歩1分又はJR新橋駅より徒歩8分

[定員] 150名(会場) 300名(オンライン) 事前申込み制、自治体関係者を優先。ハイブリッド型式(WEB: ZOOMを使用)

[参加費] 無料

[参加申込み] 学会ホームページ(https://jsmcwm.or.jp/?page_id=31313)からお申込みください

[プログラム]

- | | | |
|-------------|--|--|
| 13:30~13:35 | 開会の挨拶 | 学会副会長 山本昌宏(中間貯蔵・環境安全事業) 司会・進行 学会副会長 秩父薫雅(㈱神鋼環境ソリューション) |
| 13:35~13:55 | 廃棄物・資源循環分野における脱炭素社会の実現に向けた国の取組(20分) | 松崎裕司(環境省廃棄物適正処理推進課 課長) |
| 13:55~14:25 | カーボンニュートラルのための環境と経済が両立するプラスチック資源循環(30分) | 吉岡敏明(東北大学 教授) |
| 14:25~14:55 | サーキュラーエコノミー実現のための分離プロセス戦略と研究事例(30分) | 所千晴(早稲田大学 教授) |
| 14:55~15:25 | 一般廃棄物処理事業における脱炭素社会の実現に向けたCCU等の取組について(30分) | 荒井昌典(横浜市資源循環局適正処理計画部 施設課長) |
| 15:25~15:55 | ごみ焼却施設の排熱を熱源とする化学蓄熱材を用いた熱輸送技術の実証事業について(30分)
(環境省:脱炭素化・先導的廃棄物処理システム実証事業) | 中尾 毅(エスエヌ環境テクノロジー㈱ M&P室 室長) |
| 15:55~16:00 | 会場整備(5分) | |
| 16:00~16:55 | パネルディスカッション:資源循環分野における脱炭素化と循環経済の両立に向けた展望と課題(55分)
コーディネーター 酒井伸一(京都高度技術研究所 副所長)
パネラー <講演登壇者に加え 大塚直(早稲田大学 教授)を予定> | |
| 16:55~17:00 | 閉会の挨拶 | 酒井伸一(京都高度技術研究所 副所長) |

以上